

製品名: インヒビン β -B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12614**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	INHBB
別名	INHBB; Inhibin beta B chain; Activin beta-B chain
遺伝子 ID	3625.0
SwissProt ID	P09529
免疫原	インヒビン β B 鎖由来の合成ペプチド (アミノ酸範囲: 351-400)

背景

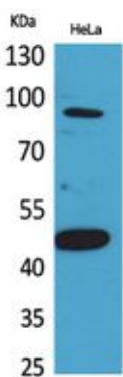
この遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) タンパク質スーパーファミリーのメンバーをコードしています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解処理され、アクチビンおよびインヒビンの二量体タンパク質複合体のサブユニットを生成します。

これらの複合体は、下垂体からの卵胞刺激ホルモン分泌をそれぞれ活性化および阻害します。この遺伝子付近の多型は、女性のヒト患者における子癇前症と関連しています。[RefSeq 提供、2016年8月]機能: インヒビンおよびアクチビンは、下垂体による卵胞刺激ホルモンの分泌をそれぞれ阻害および活性化します。インヒビン/アクチビンは、サブユニットの構成に応じて、視床下部および下垂体ホルモン分泌、性腺ホルモン分泌、生殖細胞の発達と成熟、赤血球分化、インスリン分泌、神経細胞の生存、胚の体軸発達、骨成長など、さまざまな機能の調節に関与しています。インヒビンはアクチビンの機能に拮抗するようです。、オンライン情報:インヒビンの項目,類似性:TGF-βファミリーに属します。、サブユニット:二量体で、1つ以上のジスルフィド結合で結合しています。インヒビン A はαとβAの二量体です。インヒビン B はαとβBの二量体です。アクチビン A はβAのホモ二量体です。アクチビン B はβBのホモ二量体です。アクチビン AB はβAとβBの二量体です。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;TGF-β;

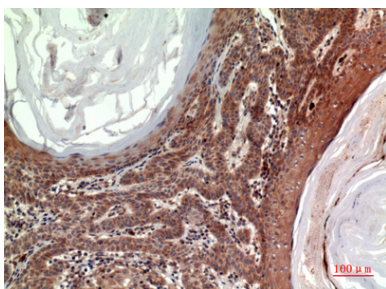
画像データ



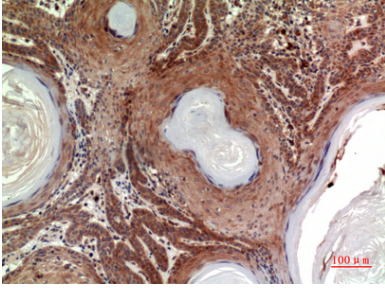
インヒビン β-B ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



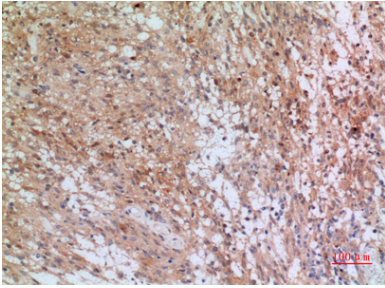
INHBB 抗体を用いた BD-PT5408wb4147442094 の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された